

2009年5月18日

2009年3月期 決算説明会 Q&A

テレビ東京 広報・IR部

- Q 09 中期計数目標の位置づけは。
- A 広告市況の先行きは不透明だが、自助努力の限界点を検討し、現時点で考えるシミュレーションを示した。これが最低限のラインと考えている。
社内の各部門が1%は積み上げるという社内へのメッセージの意味もある。
- Q 2008 年度の視聴率が厳しかったようだが、会社としてはどのように見ているか。
- A 特番の軟調、長寿番組の疲弊、再放送の増加など、色々な要因があると思う。
制作費減少の影響も無いとは言えない。コストをかけずに知恵をしぼってヒット番組を作っていく。
- Q アニメ局の新設で何をめざすか。2009 年度にできることはあるか。
- A 様々な部署に散らばっていたアニメに関する機能を集約し、アニメ業界との連携を密にして新しいビジネスを作っていきたい。
4月クールには「毎日かあさん」を立ち上げた。10月クールにはもう1本、来春にはさらに数本立ち上げたい。
- Q InterFM を子会社化して、ラジオとテレビの連携をどのように考えるか。
- A テレビ東京ブロードバンド (TXBB)が音楽関連事業として InterFM との連携を模索してきた。TXBB が IT、モバイル事業に集中するにあたり、テレビ東京グループで取り込んだ。テレビ東京グループ内の音楽関連事業との連携を考えていく。
- Q 中期経営計画において、グループ経営についてどのように考えていくか。
- A グループ外からの売上、利益を目指す子会社、グループ内のコストセンターとして効率化を図る子会社、それぞれのミッションを明確にする。09 計数目標ではグループ外からの売上の伸びを織り込まず保守的に見ており、連単差を一定とした。

以上